

# 三島の教育

令和4年度

(2022年度)

三島市教育委員会

# ま え が き

新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機に直面し、「with コロナ」時代も3年目となりました。「新しい生活様式」の実践等を進める中で、コロナ禍前の日常を取り戻し、人と人の交流や、社会経済活動の回復を進めていく段階を迎えておりますものの、いまだ先行きを見通すことは難しい状況にあります。

このような時代においては、社会生活を維持し、変化に対応し生きていく力を養っていくため、教育が果たす役割はますます重要なものとなってまいります。

学校教育に関しては、今年度は平成25年3月に策定し、10年を迎える「学校教育振興基本計画」の改定を進めております。昨今の教育課題を解消するために、引き続き「心の教育の推進」を柱とし、「確かな学力の育成」、「生徒指導や特別支援教育の充実」、「健やかな体の育成」、「命を守る学校環境づくり」を重点として取り組んでまいります。特に、「確かな学力の育成」においては、新学習指導要領の着実な実施とともに、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくために、研究や研修、授業実践を重ねてまいります。また、この実現にあたっては、GIGAスクール構想により配備された1人1台端末と電子黒板等のICT機器をいっそう効果的に活用することにより、学びの充実に向けて取り組んでまいります。こうした取組をとおして、子どもたちが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるために、必要な資質・能力を育むことを目指してまいります。

学校施設に関しては、子どもたちが安全・安心に学校生活を送れるよう、市の「公共施設保全計画」に基づき、建設から年数の経過した校舎の改築を計画的に進めており、令和4年度は向山小学校及び長伏小学校において、校舎の長寿命化や段差の解消、また、教室棟を改修する向山小学校においては、エレベーター設置等のバリアフリー化を実施し、児童生徒はもとより、地域の方々にも使いやすい学校施設となるよう、改修を進めているところであります。

また、市民が学び、充実した生活を送るための場を提供するにあたり、各種講座の再開や充実、図書館機能のICT化の推進を図るとともに、社会に出た後も、いつでも学べる機会を提供するたメリカレント教育の充実に努めてまいります。同時に、文化芸術活動の推進や、貴重な文化財の保存活用により、市民が郷土に誇りを持ち、愛する精神の醸成を図ってまいります。

三島市教育委員会といたしましては、コロナ禍による逆境を市民生活向上のための飛躍の機会と捉え、よりよい教育の機会や場を提供し、三島の教育がさらに飛躍できるよう諸施策を推進していく所存であります。

ここに、関係各位のさらなるご理解、ご協力をいただけますよう、この小冊子をとりましたので、ご教示とご鞭撻を賜れば幸いに存じます。

令和4年7月

三島市教育委員会 教育長 西島玉枝

# 目 次

## I. 市政のあらまし

1. 位置・地勢・人口…………… 1
2. 沿革…………… 1
3. 財政…………… 2

## II. 教育委員会

1. 教育長及び教育委員…………… 3
2. 教育委員会所管組織一覧…………… 3
3. 事務分掌…………… 4

## III. 教育に関する大綱

1. 三島市学校教育振興基本計画…………… 6
2. 三島市生涯学習推進プラン…………… 6
3. 三島市文化振興基本計画…………… 7
4. 三島市子ども・子育て支援事業計画…………… 7

## IV. 教育財政

1. 令和4年度教育費予算（当初）…………… 8
2. 年度別教育費の執行状況…………… 8
3. 園児・児童・生徒の人口に占める割合…………… 9
4. 園児・児童・生徒1人当たり及び  
人口・世帯割の教育費…………… 9

## V. 教育施設

1. 学校要覧…………… 10
  - (1) 小学校…………… 10
  - (2) 中学校…………… 10
  - (3) 幼稚園…………… 10
2. 学校施設…………… 12
  - (1) 小学校…………… 12
  - (2) 中学校…………… 12
  - (3) 幼稚園…………… 12
3. その他教育関連施設…………… 14
4. 令和3年度主な学校施設の整備等…………… 14
5. 令和4年度主な学校施設の整備等…………… 14

## VI. 学校教育

1. 令和4年度三島市の学校教育…………… 15
2. 遠藤奨学金について…………… 18
3. 令和3年度就学免除・猶予・死亡児童生徒数…………… 19
4. 令和3年度転入・転出児童生徒数…………… 19
5. 令和3年度中学校卒業生の進路…………… 19
6. 令和3年度就学奨励援助…………… 20
7. 令和3年度日本スポーツ振興センター掛け金  
及び給付金…………… 20
8. 学校給食…………… 21

## VII. 社会教育（生涯学習）

1. 社会教育施策の重点…………… 23
2. 委員会・団体の構成…………… 23
3. 令和3年度の重点事業…………… 23
4. 生涯学習事業…………… 24
5. 生涯学習推進事業…………… 24
6. 家庭教育事業…………… 24
7. 成人教育事業…………… 25
8. 女性団体支援事業…………… 25
9. 青少年対策事業…………… 25
10. 青少年教育事業…………… 27
11. 児童センター事業…………… 29
12. 学校・家庭・地域連携協力推進事業…………… 29

## VIII. 文化財

1. 令和4年度の施策の重点…………… 31
2. 文化財保護…………… 31

## IX. 社会教育施設

1. 三島市民生涯学習センター…………… 37
2. 図書館…………… 40
3. 公民館…………… 42
  - (1) 中郷公民館…………… 43
  - (2) 坂公民館…………… 44
  - (3) 北上公民館…………… 44
  - (4) 錦田公民館…………… 46
4. 箱根の里…………… 47
5. 郷土資料館…………… 49

# I 市政のあらまし

## 1 位置・地勢・人口

### (1) 市役所の位置

|     |         |
|-----|---------|
| 東 経 | 138度55分 |
| 北 緯 | 35度06分  |
| 標 高 | 24.9m   |

### (2) 地 勢

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 東 西 | 11.107km             |
| 南 北 | 13.242km             |
| 面 積 | 62.02km <sup>2</sup> |

### (3) 人 口 (令和4年4月30日現在)

|     |          |
|-----|----------|
| 男   | 52,820人  |
| 女   | 55,082人  |
| 計   | 107,902人 |
| 世帯数 | 50,008世帯 |

(人口、世帯数には外国人を含む)

## 2 沿 革

箱根西麓に位置する三島市は、気候・風土など自然条件に恵まれていることから、市内の各所で縄文・弥生文化の遺跡を見ることができる。また、約4千年前の縄文式住居跡や、さらに約2万7千年前(旧石器時代)の石器も発見されており、古代から人々の生活に適した所であったと言える。

天武天皇の飛鳥時代(680年)に伊豆国の国府が置かれ、奈良時代天平年間には国分寺・国分尼寺が建立されるなど、三島はこの地方の行政・教育文化・交通の要衝であったことがうかがえる。

源頼朝が、挙兵(1180年)に際し戦勝祈願をしたことで有名な三嶋大社は、鎌倉・室町時代、武家の崇敬篤く、また庶民の信仰をあつめたことで知られている。

戦国時代末期に築城された山中城は、秀吉の小田原攻めの際(1590年)に落城、現在は国指定の史跡公園として整備されている。

三島は徳川時代には幕府直轄の天領となり、170年の間、代官所が置かれていた。東海道とともに繁栄した三島宿は、品川・桑名と並んで五十三次の中でも大きな宿場の一つであり、最盛期には78軒の旅籠を数えた。さらに門前町としての性格もあって往時は繁華を極めたという。

幕末の頃、三島には十数校の漢学塾と相当数の寺子屋があった。明治5年(1872年)に学制が施行されると2校の小学校が設置され、翌6年(1873年)には現在の市域で6校を数えるに至ったことは、住民の伝統的な向学心の証であろう。

明治19年(1886年)には君沢田方郡役所が置かれ、明治22年(1889年)市町村制の施行により三島町となり、同22年(1889年)、県下で最初の公立幼稚園が三島・静岡・掛川に開園した。

大正4年(1915年)3月、三島町立図書館開館。大正8年(1919年)から9年(1920年)に野戦重砲兵連隊が横須賀及び和歌山から三島に移転してきた。昭和9年(1934年)丹那トンネルが開通して三島駅が設置されると、宿場の疲弊により一時沈滞していた街にも活気が戻った。

昭和10年(1935年)北上村を編入、昭和16年(1941年)には錦田村と合併して三島市が誕生した。さらに昭和29年(1954年)には中郷村を編入し総面積62.02km<sup>2</sup>の市域となり、現在に至っている。

昭和32年(1957年)米国カリフォルニア州のパサディナ市と全国で4番目の姉妹都市縁組を結び、国際化時代の先達として今も着実に交流を続けている。

昭和39年(1964年)三島・沼津地域に計画された石油化学コンビナートの進出を阻止。昭和44年(1969年)新幹線三島駅の開業等による経済圏・生活圏の拡大と相まって人口が急増。さらに、新幹線ひかり号の停車や、平成21年(2009年)7月の東駿河湾環状線一部供用開始、首都圏への直通高速バスの運行開始により、伊豆・北駿の玄関口、交通の結節点として、県東部の中核的都市として発展を続けている。

平成3年(1991年)4月、市制施行50周年を迎え、ニュージーランドのニュープリマス市との姉妹都市縁組を結び、さらに平成9年(1997年)5月には、かねてから交流を重ねてきた中国浙江省麗水市と友好都市縁組を結んだ。

令和3年(2021年)4月には市制80周年を迎え、現在市内には、幼・小・中・高校のほか、大学院大学でもある国立遺伝学研究所をはじめ、日本大学国際関係学部・短期大学部、順天堂大学保健看護学部、放送大学静岡学習センター、佐野美術館等多くの教育文化施設が設置され、市民文化会館や市民生涯学習センターを教養文化の拠点として、せせらぎと緑と活力あふれる幸せ実感都市を目指している。

### 3 財 政

#### 令和4年度一般会計歳入歳出予算（当初）

（単位:千円）

（単位:千円）

| 歳 入         |            |
|-------------|------------|
| 費 目         | 予 算 額      |
| 市税          | 17,540,832 |
| 地方譲与税       | 266,501    |
| 利子割交付金      | 17,000     |
| 配当割交付金      | 80,000     |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 85,000     |
| 法人事業税交付金    | 210,000    |
| 地方消費税交付金    | 2,770,000  |
| ゴルフ場利用税交付金  | 50,000     |
| 自動車取得税交付金   | 1          |
| 環境性能割交付金    | 42,000     |
| 地方特例交付金     | 110,000    |
| 地方交付税       | 1,610,000  |
| 交通安全対策特別交付金 | 23,008     |
| 分担金及び負担金    | 132,961    |
| 使用料及び手数料    | 597,249    |
| 国庫支出金       | 7,118,847  |
| 県支出金        | 2,917,697  |
| 財産収入        | 216,342    |
| 寄附金         | 239,809    |
| 繰入金         | 516,173    |
| 繰越金         | 390,000    |
| 諸収入         | 1,108,480  |
| 市債          | 3,158,100  |
| 歳入合計        | 39,200,000 |

| 歳 出   |            |
|-------|------------|
| 費 目   | 予 算 額      |
| 議会費   | 257,089    |
| 総務費   | 3,758,572  |
| 民生費   | 14,625,471 |
| 衛生費   | 4,504,075  |
| 労働費   | 36,499     |
| 農林費   | 313,881    |
| 商工費   | 667,570    |
| 土木費   | 4,474,078  |
| 消防費   | 1,679,642  |
| 教育費   | 5,098,673  |
| 災害復旧費 | 1          |
| 公債費   | 3,754,449  |
| 予備費   | 30,000     |
| 歳出合計  | 39,200,000 |

